

『部落解放研究』目次 (第六一号、第七〇号)

*創刊号(第六〇号)の目次は
本誌第五〇・六〇号に掲載。

〈第六一号 一九八八年五月〉

特集Ⅱ部落解放基本法制定への展望—「地対財特法」下の現状と課題

1・「地対財特法」の限界と部落解放基本法 友永 健三

2・法務省、その人権擁護の虚構 阪本 義信

3・労働の現状と課題 高木 典子

4・部落産業の現状と課題 越智 昭博

5・部落農業の現状と展望 中村 清二

6・部落の住環境の現状と展望 吉村 善美

7・「地対財特法」下における福祉の現状と展望 東野 正尚

8・文部省の同和教育行政の現状と課題 前川 実

新潟県神林村判決をめぐって—「未指定地区」における同和对策事業

中山 武敏

部落解放の歯車を逆転させてはならない—「啓発指針」を批判する

友永 健三

北欧共同労働市場協定—外国人労働者の移動自由化・権利保障

竹崎 政

大学における部落解放教育の一つの試み—桃山学院大学の人権教育の理念と実際

寺木 伸明

「部落厚生皇民運動」史論(二)—水平運動史における戦争協力の問題

藤野 豊

連載/部落問題報道と朝日新聞(七)—一九五七年前期

田結荘哲治

資料/「アイヌ民族に関する新法問題について」の答申

田結荘哲治

〈第六二号 一九八八年七月〉

特集Ⅱ近代の部落問題と水平運動

1・近代部落史における部落民女子「定説」の批判

金子マーティン

の批判的検討

2・聞きとり・水平運動黎明期の主義者たち—傑僧三浦大我と水平社創立者

宮橋 国臣

3・「部落厚生皇民運動」史論(三)—水平運動史における戦争協力の問題

藤野 豊

4・資料紹介・アメリカの戦時資料(2)—「ニューヨーク・タイムズ」記事

一九二八年一月一日号「平等を求めて」

赤塚 康雄

海外レポート/第四四回人権委員会に参加して

鈴木美恵子

海外研究動向/人道問題モスクワ国際会議は果たして開催されるだろうか。

ユベナリー・ポリヤコフ

史料紹介/幕末における一独立村の動向—摂津国下田村文書

吉村 智博

〈第六三号 一九八八年九月〉

特集Ⅱ解放教育の当面する課題

1・「臨教審」から「教育課程審議会答申」そして 鈴木 祥蔵

2・教育課程改訂と解放教育 木下 繁弥

3・すべての地域で「同和」保育の実践を—差別を助長し、福祉切り捨てに手を貸す日本共産党の「同和」保育攻撃を批判する 玉置 章子

4・部落問題が提起する教育上の諸課題と「解放の学力」論をめぐる諸問題 前川 実

5・一九七〇年代の大阪の同和教育—主として学校教育に係る分野について の覚書 中野 陸夫

6・戦後の同和教育の歴史から学ぶもの—「戦後同和教育の歴史」改訂にむけての要望 寺澤 亮一

投稿/八次小学校差別問題の本質 竹原 孝剛

資料/差別なく人権が守られた社会を求めて—日本政府による「市民的及び政治的権利に関する国際規約」第四〇条に基

づく第二回報告・批判

(社)部落解放研究所 海外研究動向/焦点は人権である

B・S・クルイロフ

連載/部落問題報道と朝日新聞(八)—一九五七年前期

田結荘哲治

〈第六四号 一九八八年一〇月〉

第一〇回全国部落解放研究者集会報告

特別報告/「白丁」と水平運動

金 永大

全体報告/「部落解放・人権啓発基本方針」と今後の課題 元木 健

高槻市啓発方針と年次計画の取り組み

大倉 弘毅

部落問題解決と同和行政 友永 健三

大阪における同和事業の点検・整備に関するとりくみ 荻田 哲男

事業未実施地域の問題について—差別行政料金の闘い 小池 重市

政治弾の闘い 小池 重市

最近の近代部落史研究の成果と課題—大阪の近世部落史を中心に 中尾 健次

米騒動七〇周年と部落問題 黒川みどり

特別アピール/新潟県神林村訴訟に勝利し

小池 重市

集会まとめ/今後の部落解放運動の方向と研究の課題

大賀 正行

資料/市民的及び政治的権利に関する国際規約第四〇条に基づく第二回報告(仮訳)

外務省国際連合局人権難民課

おしらせ/第二八回研究所総会開く

〈第六五号 一九八八年二月〉

特集Ⅱ国際化時代の差別と人権

1・人権の歴史的流れと現代の動向 田畑茂二郎

2・一九九〇年の国際識字年に向けて—資料と解説 森 実

3・ダルムシュタット事件(1)—ドイツ・シンティ・ロマの現状に関する一つの報告 小川 悟

4・フランスの人種差別禁止法一五周年をめぐる動向 林 瑞枝

5・西独企業、労働組合、そして外国人労働者—西独企業社会による外国人差別の構造と背景 菅 純男

6・イギリスの雇用機会の平等の促進—人権関係法に基づく「行為準則」

竹下 政行

7・朝鮮の被差別民衆「白丁」と衡平運動

部落解放研究所

資料／各国の国際人権条約批准状況

国際連合広報センター

「八鹿高校差別糾弾事件」の大阪高裁判決と糾弾

桜井 健雄

資料紹介／アメリカの戦時資料(3)——『在日外国人』

片山須美子・金 英 達

連載／部落問題報道と朝日新聞(九)——

一九五七年後期

田結荘哲治

〈第六六号 一九八九年二月〉

特集II第二回反差別国際シンポジウム

主催者あいさつ

寺本 知

来賓あいさつ

金澤 正次

討論1 各国の差別の現状

討論2 世界人権宣言の具体化のための提言

各パネラーと司会者のまとめ

マリオ・ジョージ・ユートニス／ロマネ

・ローゼ／アンリマリー・デュマ／フレ

ディー・ドラミニ／プラカッシュ・アン

ベドカル／上杉佐一郎／〈司会〉村越末

男

第二回反差別国際会議宣言

人種差別撤廃条約批准の意義——同条約四

条を中心として

松本 健男

拷問及び刑事司法に関する人権侵害につい

て——代用監獄、接見交通権問題を中心

に

戸塚 悦朗

糾弾闘争における集団の思想について——

法務省II地対協路線を批判する

山上 益朗

パート労働の人権と均等待遇にむかって——

世界の流れと日本

柴山恵美子

賀川豊彦と部落差別問題

土肥 昭夫

資料／国際人権規約第四〇条に基づく条約

当事国の報告書の審議(仮訳)——日本

の第二定期報告書(1)

部落解放研究所人権部会

海外レポート／ダルムシュタット事件(2)——

ドイツ・シンティ・ロマの現状に関する

一つの報告

小川 悟

報告／部落解放研究所創立二〇周年記念集

会

「近世部落」像の再構築のために

生瀬 克己

『部落解放史』近代編について

渡部 徹

古代・中世史の研究課題

上田 正昭

部落史研究の課題

小林 茂

国際化と部落解放運動

大賀 正行

〈第六七号 一九八九年四月〉

特集II今日の同和行政の課題

1・地域格差大きい同和行政——北陸・関

東の未実施地域を見て

北 孔介

2・部落実態調査の課題

小森 哲郎

3・大阪における施設開放の現状と課題——

解放会館を中心にして

吉村 善美

講演／フランス革命と人権宣言

河野 健二

日本における外国人労働者の差別と人権

丹羽 雅雄

国連の新「被拘禁者保護準則」とわが国の

法制度

永野貫太郎

海外研究動向／スウェーデンの差別オムブ

ツマン(DO)——行政と司法の役割分

担

竹崎 政

投稿／現代差別論の社会的課題・再論

(上)

好井裕明・亘 明志

資料／国際人権規約第四〇条に基づく条約

当事国の報告書の審議(仮訳)——日本

の第二定期報告書(2)

部落解放研究所人権部会

〈第六八号 一九八九年七月〉

特集II人権の国際化と解放教育の課題

1・国連「子どもの権利条約」制定の意義

鈴木 祥蔵

2・アメリカのマイノリティの現状と教育

島原 宣男

3・幼稚園教育要領の改訂と同和保育の課

題

玉置 哲淳

4・小学校学習指導要領と同和保育の課題

小林 正一

5・中学校の学習指導要領の改訂と解放教

育の課題

畑中 武

6・高校新学習指導要領と解放教育の課題

大塚 忠広

資料紹介／非政府組織、ユネスコクラブ、

協同学校およびその他の関係団体のため

の実践の手引き——一九九〇年国際識字

年(ILEY)——(仮訳)

部落解放研究所識字部会

資料紹介／子どもの権利に関する条約——

人権委員会草案全文(仮訳)

国際教育法研究会

海外レポート／国連人権委員会第四五会期

に参加して

川村 曉雄

海外レポート／韓国で注目された衡平

運動

〈第六九号 一九八九年九月〉

特集II占領期の部落問題

「占領期の部落問題」の特集にあたって

部落解放研究所近現代史部会

1・部落問題に対する基本姿勢について

2・占領政策の根本原則と部落問題——元

民政局長ケイ・デイス氏に聞く

3・戦後部落の差別実態の把握について

4・資料紹介「部落の起源、発達、現況に

関する一考察」

「猿飼」の身分的位置とその変遷——関東

を中心として

中尾 健次

「解放令」以後の分村独立運動の再評価——

滋賀県下の事例を通して

吉村 智博

世界のリテラシー、リテラシーの世界——

国際識字年を考える視点

平沢 安政

資料紹介／播但一揆に関する史料の紹介——

隠された部落解放反対騒擾の史料

上杉 聰

資料紹介／人間の尊厳と基本的人権に基礎

を置く自由・公平・連帯の新しい社会を

目指して(1)——西ドイツ社会民主党

の新しい基本綱領草案

柴山健太郎

海外研究動向／ソ連における民主化とウイ

ーン会議

S・バクリーナ

書評／『部落解放史・下巻』を読んで——

戦後史の流れの中での「総括」がほしい

平野 一郎

投稿／現代差別論の社会的課題・再編

(中)

好井裕明・亘 明志

〈第七〇号 一九八九年一〇月〉

第一回全国部落解放研究者集会報告

シンポジウム／部落史研究の到達点と課題

——『部落解放史』全三巻発行の意義

古代

上田 正昭

中世

横井 清

近世

寺木 伸明

近代

秋定 嘉和

戦後

渡辺 俊雄

現代

友永 健三

英米刑事司法と狭山事件

庭山 英雄

差別事件の分析と糾弾

山中多美男

人種差別撤廃条約四条と差別的表現の禁止

内野 正幸

教育実態調査と今後の研究課題——学力総

合実態調査に対する梅田修氏の批評に

応える——

森 実

同和教育に関する箕面市教育総合実態調査

の現況と課題

鍋島 祥郎

八五年以後の学力総合実態調査の取り組み

と今後の課題

前川 実

問題提起Ⅱ日共・全解連の部落民宣言不

論について

大賀 正行

特別報告／狭山第二次再審請求について

松本 健男

集会まとめ／今後の部落解放運動の方向と

研究の課題

大賀 正行

資料紹介／人間の尊厳と基本的人権に基礎

を置く自由・公平・連帯の新しい社会を

目指して(2)——西ドイツ社会民主党

の新しい基本綱領草案

柴山健太郎

書評／部落解放研究所編『部落解放史—熱

と光を—』上巻

丹生公哲一

書評／被差別者としての「国民」概念—

—部落解放研究所編『部落解放史 下

巻』を読んで

尹 健 次

おしらせ／第三〇回研究所総会ひらく

資料／『部落解放研究』目次(第六一号)

第七〇号)